

交付申請時に提出する証明書(母体団体に繰り入れる場合)
(6年度交付分に係る受入及び支出)

受入証明書(繰入)

令和6年12月10日に交付を受けた報奨金200万円の受入及び繰入については、下記のとおりです。
なお、繰入期日は令和6年12月10日です。

受 入		繰 入	
収 入 事 項 (事務組合)	受入金額	収 入 事 項 (〇〇本体会計)	繰入金額
款 その他収入	2,000,000	款 その他収入	2,000,000
項 報 奨 金	2,000,000	項 雑 収 入	2,000,000
目 報 奨 金	2,000,000	(目 報 奨 金)	2,000,000
うち母体会計繰入分	(2,000,000)	事務組合からの繰入	
計	2,000,000		2,000,000

区分経理上、収入については、「報奨金」という目で受け入れてください。そのため、款や項という名称は問わず、帳簿上の区分けは省略せずに記入してください。
繰入先の母体団体も同様です。

支出証明書(振替)

令和6年12月10日に繰入れ済みの報奨金 2,000,000円の支出の振替については、下記のとおりです。
なお、振替期日は令和7年3月31日に一括して振替えました。

支 出 事 項	支出総額 (一般会計より支出)	報奨金支出額	備考
1. 人 件 費	4,800,000	1,125,000	R7.3.31振替
茂原 専人	2,400,000	665,000	
兼田 任	2,400,000	460,000	
2. 賃貸借料	1,000,000	200,000	R7.3.31振替
事務所借上料	1,000,000	200,000	
3. 旅 費	30,000	30,000	R7.3.31振替
労働保険料徴収等	30,000	30,000	
4. その他の経費		645,000	R7.3.31振替
自動車積立金等		645,000	
計		2,000,000	

振替期日は簡便のため国の会計年度末の3月31日を例示しています。また簡便のため一括した振替を勧めている関係で「一括して」という文言をいれてあります。振替期日を備考欄に記載してあればこの文章の省略も可です。

事務組合で受け入れた後、母体団体に繰入れられた報奨金200万円が、母体団体の会計で支出され、振替られたことについて母体団体代表と事務組合代表が証明しています。

当該受入証明書(繰入)・支出証明書(振替)については、正当なものであることを証します。

令和7年3月31日 証明者 労働保険事務組合 代表 山 本 ○○

令和7年3月31日 証明者 外山経営労務研究会 代表 外 山 ●●

その他の経費については、報奨金を支出している事項のみ計上していますので支出総額は記入しておりません。